

## 道徳学習授業案

日 時：平成30年10月2日  
場 所：弟子屈中学校1年A組  
生 徒：男子13名、女子9名  
授業者：個人情報保護のため割愛

### 1. 内容項目 生命の尊重 3-(1)【現行】 D-(19)【新学習指導要領】

#### 2. 生徒の実態

積極的に学習に向かおうとする学習意欲の高いクラスである。活発に学習に取り組む反面、思考したり答えのない事を考えたりすることが苦手である。また、自己肯定感も高くないので自分の書いた内容でも、自信を持って発表することが苦手である。

命は大切であり、自他の生命は尊重しなくてはならないことは、知識として持っている。しかし、相手を不快にさせる言動が多く、自他の生命を尊重していない行動をとる場面もみられる。

#### 3. 教材について

飼い主の視点から、飼い犬が息を引き取るまでの話書かれている。ペットの最後を見取る描写を通して、命の尊さを感じることでできる教材である。また、身近な話題を扱っているため、自我関与で登場人物の心情に寄り添いやすくなっている。筆者の視点だけでなく、ペットからの視点も加えて双方向の心情についても読み取る事を通して、終末に向けて自分自身も互いに支え合い、思い合いながら毎日を生きていることにも気づかせたい。

#### 4. 指導について

生命が大切であるという表面的な理解にとどまらないように留意したい。教材の自我関与を通して、命の尊厳についての自分の考えや気持ちを素直に語らせたい。その上で互いに支え合い生きていくような関係になるためには、どのようなことが必要なのかを考えさせ、自他ともに大切にしたいという心情を芽生えさせ、自他の生命を大切にしようとする心情を培いたい。

5. 本時について

(1) 本時の目標

- ・資料を通して生命の尊厳に気づかせ、自他の生命を尊重しようとする心情を培う。

(2) 本時の展開

	学習活動 ○ 発問等(◎中心的な発問) ・子どもの反応	◇指導上留意点
導入	<p>1 本時のテーマについて考える。</p> <p>○ 命と聞いたらどんなことを思い浮かべますか。 ・大事 ・心臓 ・一つしかない</p> <p>2 神様からの贈り物を範読した後に内容について整理する。</p>	<p>◇本時で命について取り扱うことを意識させたい。</p> <p>◇資料についての確認を通して資料への理解を深める。</p>
展開	<p>3. 筆者の心の内を考える</p> <p>○ がんが発見されたときの飼い主は、どんな気持ちだっただろう。 ・悲しい ・信じたくない</p> <p>※ なぜ、そんなに悲しかったのかと問い返してクンちゃんが存在であることを強く意識させる。</p> <p>○ 安楽死を選択しようとしたのはなぜだろう。 ・大切な存在だから ・苦しませたくない</p> <p>○ なぜ、安楽死という決定を取りやめたのだろう。 ・必死に生きようとしていたから ・大切な存在だから</p> <p>※ クンちゃんの様子の変化(衰退していく様子)について整理していく。</p> <p>◎ 「クンちゃんは、神様からの贈り物だったな」という言葉にはどんな思いが込められているだろう。 ・感謝(ありがとう) ・出会えてよかった。 ・一緒に入れてよかった。</p> <p>○ 考えたことを、グループで交流しよう。</p> <p>※ 筆者は世話をすることに苦労していたのではないだろうか。</p> <p>4. 2人の関係について考えさせる。(教科書閉じさせる)</p> <p>○ この2人のような関係になるためには、どうしたらよいだろうか。 ・人に対する思いやり ・お互いに信頼し合う ・共に生きる時間を大切にする</p> <p>○ 交流した意見の中で、自分が自信を持ってできているものと、そうではないものはありますか。</p>	<p>◇クンちゃんがとても大切な存在であることを認識させる。</p> <p>◇安楽死を取りやめた頃から亡くなるまでの間を簡単に整理する。</p> <p>◇※の問い返しでお互いに支え合っていたことに気づかせたい。</p> <p>◇互いに支え合って生きるためには色々な視点があることに気づかせる。</p> <p>◇根拠を明確にさせる問い返しを行う。</p> <p>◇自分の立ち位置を確認させる。</p>
終末	<p>○ 今日の道徳の学習で「生命」について学んだことや考えたことを書いてみよう。</p>	<p>◇記入後、教師のペットの説話を聞く。</p>

